



金沢21世紀美術館では、「金沢若者夢チャレンジ・アート・プログラム」の第4弾として去る4月より、現代美術家 高嶺格による長期プロジェクト型展覧会「Good House, Nice Body〜いい家・よい体」を開催中です。本展は、「Good House」「Nice Body」の2つのプロジェクトから構成され、公募で集まったメンバーと作家との共同作業により作り上げられます。このたび、プロジェクト第2章「Good House」の始動を8月に控え、その詳細をご案内します。

プロジェクト「Good House」

「すみか ーいつの間にかパッケージ化され、カタログから選んで買わされるモノになってしまった住処を、自分の手に取り戻すことを目指します」ー高嶺格、渡辺菊眞

高嶺格が鋭敏に嗅ぎ取った現代住宅に潜む「インチキ臭」への嫌悪を出発点とし、メンバーや来場者とともに「ひとが住む場所とは何なのだろう」ということを自分の身体を使って、作り、感じて、考え、発信するワーク・イン・プログレスのプロジェクトです。今回は、土囊建築の研究・実践者である渡辺菊眞氏(高知工科大学准教授、D環境造形システム研究所)をプロジェクト・パートナーとして招き、プロジェクト全般にわたり指導を受けます。両氏とともに土囊や廃材を用いた建築を実践する過程で、「Good House〜いい家」について考え、各自がそれぞれの「すみか」を取り戻すことを目指します。

展覧会名	高嶺 格「Good House, Nice Body〜いい家・よい体」	英文名	TAKAMINE Tadasu: Good House, Nice Body	
会期・会場	2010年4月29日(木・祝) → 2011年3月21日(月・祝) [作品展示 / 長期インсталレーションルーム] 2010年4月29日(木・祝) → 2011年3月21日(月・祝) [作品公開制作 / プロジェクト工房] 2010年8月28日(土) → 2011年3月21日(月・祝)			
	◎ 開場時間 長期インсталレーションルーム / 10時～18時(金・土曜日は20時まで) プロジェクト工房 / 展覧会開場日の12時～18時			
	◎ 閉場日 / 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、その直後の平日。ただし、8月9日、8月16日、8月30日、11月22日、1月3日は開場) 9月1日、11月24日、12月27日～1月1日			
料金	無 料	主 催	金沢21世紀美術館 [(財)金沢芸術創造財団]	助 成 芸術文化振興基金
協 力	橋本建築造園設計、クリーンリサイクル株式会社、IAMAS(情報科学芸術大学院大学)			

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 展覧会担当 / 吉岡・吉備 広報担当 / 落合・沢井
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2806
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



プロジェクトの特徴

1. 展覧会第2章「Good House」が問う我々の「すみか」

4月より開催中の「高嶺格 Good House, Nice Body～いい家・よい体」展、第2章となる「Good House」は、高嶺が現代住宅に嗅ぎ取った「インチキ臭」に対する嫌悪をきっかけとして構想されました。いつの間にか我々の手から遠のいてしまった「人の住む場所＝すみか」について改めて問い直し、そして自分たちの手で取り戻そうと試みるプロジェクトです。

2. 注目の現代美術家が気鋭の建築家とともに展開するプロジェクト

ジャンルを横断し、多彩なメディアを駆使した表現活動で高い評価を集める高嶺格が「Good House」でタグを組むのは、土囊建築の研究・実践を重ね、数多くの国内外のプロジェクトを手がける建築家、渡辺菊真。高嶺と渡辺が中心となり、土囊や廃材を用いた建築をプロジェクト工房にて実践する過程で、様々なゲスト講師を招きながら、「Good House」の本質をメンバーや来場者とともに考え、体感する場とします。

3. ボランティア・メンバーとともに作り、考え、
発信するワーク・イン・プログレスのプロジェクト

金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム*の第4弾として始まった本展は、作家とボランティア・メンバーとの共同作業を通じて実現していく展覧会です。第1章「Nice Body」では、オーディションで集まったメンバーが役者として参加した新作の映像インスタレーションが完成しました。「Good House」においては、公募で集まったメンバーとともに制作やディスカッションを通じて「人が住む場所とは何なのか」ということを実践的に考え、発信していきます。

* 金沢若者夢チャレンジ・アートプログラムについて

ストックホルム近代美術館による十代後半の若者向けの教育普及プログラム「ゾーン・モデルナ」をモデルとし、2007年に始動したプログラムで、美術館が若者に芸術活動参画の機会を提供し、人間形成へ貢献することを目的としています。金沢21世紀美術館では、若者がアーティストとの芸術活動を通して成長する、独自の長期プロジェクト型展覧会を展開しています。

当館では、これまで以下のプログラムを展開してきました。

2007年度 日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式

2008年度 日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式 meets NODA [But-a-I]

2009年度 広瀬光治と西山美なコの“ニットカフェ・イン・マイルーム”

スケジュール

高嶺 格「Good House, Nice Body～いい家・よい体」

PROJECT 1

「Nice Body」

作家のディレクションのもと、メンバーが役者として参加し、「家」を舞台に映像と音声とが錯綜する新作映像インスタレーション《Good House, Nice Body:私を建て、そして通り過ぎていった者たち》が完成。現在、公開中。

・作品展示(長期インスタレーションルーム) 4月29日(木・祝) → 2011年3月21日(月・祝)

PROJECT 2

「Good House」

高嶺格と渡辺菊真が中心となり、土囊や廃材を用いた建築をプロジェクト工房にて実践する過程で、様々なゲスト講師を招きながら、「Good House」の本質をメンバーや来場者とともに考え、体感する。

・現在、参加メンバー募集中

・メンバーによる制作 2010年8月20日(金)～26日(木)

およびその後毎月2～3日程度を予定

・一般公開(プロジェクト工房) 2010年8月28日(土) → 2011年3月21日(月・祝)

※アーティストの高嶺氏は、8月後半に金沢に滞在します。インタビュー取材等、ご希望の際は広報室までご相談下さい。

作家プロフィール

高嶺 格 (たかみね ただす)

1968年鹿児島県生まれ。滋賀県在住。

京都市立芸術大学工芸科漆工専攻卒業、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)卒業。1990年代初頭よりパフォーマンス活動を行い、ダムタイプの作品にも参加。現在では、インスタレーションや映像作品、写真作品、パフォーマンス等、様々なメディアを駆使しながら作品制作を行う。舞台作品の制作・演出、コラボレーションも多数手がける。その活動は、ヴェネツィア・ビエンナーレを始めとする国際展の参加などにより、海外でも高く評価されている。

主な作品所蔵先は、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、熊本市現代美術館、広島市現代美術館、横浜美術館。

プロジェクト
パートナー

渡辺 菊真 (わたなべ きくま)

1971年奈良県生まれ。

京都大学工学部建築学第二学科卒業、同大学大学院工学研究科生活空間学専攻修士課程修了、同博士課程単位認定退学。2001年から天理大学と共同で土囊建築の設計と施工を国内ならびにインドで行う。近年はヨルダン、東アフリカなどで土囊建築と当地の伝統建築工法を混濁させたユニークな建築空間を現地住民とともに造り上げることを通じて、当地の貧困緩和、自立支援活動を展開。土囊建築を物理的なシェルターとしてだけでなく、人間の深層にある夢を容れる器として実現されるべきだという意志が、数々の土囊村落計画形状に反映されている。



関連企画

アーティストトークのほか、渡辺菊真氏(建築家・高知工科大学准教授)、家成俊勝氏(建築家、ドットアーキテクト)らによるトーク、ワークショップなど、ゲストによる特別プログラムを予定

※その他、会期中に「学芸員によるギャラリー・トーク」、「絵本を読もう」などを実施。

7月 松本祐一 アンケート・アート

[日時] 7月31日(土) 14:00~15:00 [会場] プロジェクト工房

[定員] 先着40名 [料金] 無料

現在公開中の高嶺格による映像インスタレーションの音響を担当したメディア・アーティスト松本祐一が、「家」をテーマとする設問への回答を広く一般から集め、その回答をもとに新作の「アンケート・アート」を発表する。

8月 プロジェクト第2章オープン記念
高嶺格によるアーティスト・トーク

[日時] 8月28日(土) 14:00~15:30 [会場] レクチャーホール

[定員] 先着80名(当日10時より、レクチャーホール前で整理券を配布します) [料金] 無料

9月 ゲスト・トーク

[講師] 渡辺菊真(建築家・高知工科大学准教授)

[日時] 9月23日(木・祝) 14:00~15:30 [会場] レクチャーホール

[定員] 先着80名 [料金] 無料

10月 ゲスト・ワークショップ

[講師] 家成俊勝(建築家・dot architects主宰)

水野大二郎(デザイン研究者・京都造形芸術大学非常勤講師)

[日時] 10月23日(土)、24日(日) <予定> [会場] プロジェクト工房周辺

11月 ゲスト・トーク

[講師] ピシットポン・シラピスト (アーティスト、ComPeung Village of Creativity主宰)

[日時] 11月21日(日) <予定> [会場] レクチャーホール

※参加方法、料金等各プログラムの詳細は美術館HPに順次アップいたします。

※会期中、この他にも様々なプログラムを予定しています。美術館HPにてご確認ください。

広報用画像

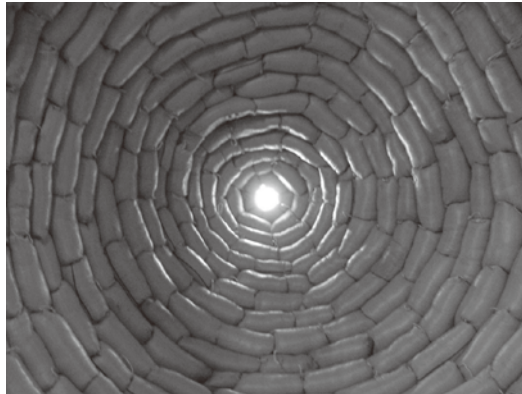
※クレジットは全て明記してください。 トリミングはご遠慮ください。
※キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。
※情報確認のため、ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で広報室までご連絡ください。
※掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

1.



高嶺格《Twist & Twist》制作風景 2009年
「TWIST & SHOUT: Contemporary Art from Japan」展、
Art and Culture Centre, Bangkok

2.



西インドの土壌の図書館、
D環境造形システム研究所

3.



高嶺格
《Good House, Nice Body:
私を建て、そして通り過ぎていった者たち》2010年、
金沢21世紀美術館
撮影:中道淳/ナカサアンドパートナーズ

4.



高嶺格
《Good House, Nice Body:
私を建て、そして通り過ぎていった者たち》よりスチル、
2010年